

(題名) たばこ対策の評価と禁煙サポート体制の構築に向けて

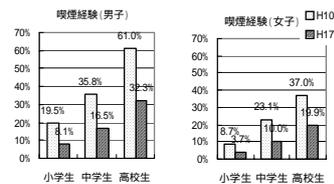
島根県健康福祉部健康推進課 青戸 有子・竹内 俊介・永江 尚美

健康長寿しまねの推進の一環として、平成 16 年 2 月に策定した「島根県たばこ対策指針」に基づく防煙・分煙・禁煙の取り組みを評価するために各種調査を行った。これらの調査結果を分析・評価するとともに、禁煙サポート体制の構築に向けた取り組みを行い、今後のあり方について検討したので報告する。

1. 防煙・分煙・禁煙の取り組みの評価

1) 防煙～未成年者の喫煙防止～

【現状】 喫煙経験率は、小中高校生とも平成 10 年度の調査結果に比べ、平成 17 年度はそれぞれ半減している。 たばこ対策についての中高校生の意識は男女とも前回調査に比べると前向きな意見が高率を占めた。



【課題】 学校における早い時期からの繰り返しの教育の継続 地域や家庭での更なる取り組み 自動販売機から容易に購入できない環境づくり

2) 分煙～受動喫煙防止～

【現状】 公共施設・事業所の禁煙・分煙状況は、いずれも平成 12 年度調査に比較して、平成 17 年度は「施設・敷地内禁煙」「完全分煙」の割合が増えた。

【課題】 子供をはじめとする多くの県民が利用する公共施設・飲食店等における完全分煙対策の更なる強化 事業所における禁煙・分煙の取り組みの推進

3) 禁煙～禁煙サポート～

【現状】 成人の喫煙率は、平成 7 年度調査に比べ平成 16 年度調査は低率になった。

喫煙者のうち、禁煙したいと思っている人は、

男性 71.7%、女性 83.3%となっている。

【課題】 禁煙希望者が身近なところで禁煙指導を受けることが出来るような禁煙サポート体制の整備

禁煙支援者が効果的な禁煙サポートを行うための質の向上 禁煙治療実施医療機関等の情報提供の継続

2. 禁煙サポート体制の構築に向けた取り組み

【取組内容】 禁煙治療実施医療機関の情報提供 禁煙サポート研修会の開催 禁煙手帳の作製 世界禁煙デーに併せた「島根県庁内禁煙デー」の実施と禁煙相談の開催

【課題】 禁煙希望者への支援の継続 禁煙サポートの質の確保

3. 今後の取り組みに向けて

(1) 関係機関・関係団体との協働した取り組みの展開
健康長寿しまね推進会議及び圏域健康長寿しまね推進会議が中心となり、各構成団体の役割を生かした具体的な取り組みの実施と評価の継続

(2) 「最初の 1 本を吸わせない」取り組みの強化

家庭・学校・地域でのそれぞれの役割に応じた取り組みの継続

(3) 無煙環境づくり、分煙の更なる推進

職場における管理者教育及び地域・職域における禁煙・分煙の更なる取り組みの実施

(4) 禁煙サポート体制の構築

禁煙に向けてのきっかけづくり及び禁煙指導実施機関等の情報提供の継続と禁煙サポートの質の確保のための取り組みの実施

